

市議会だより

大月市

平成 26 年 8 月 29 日発行 No.135

祝市制 60 周年

「市議会だよりの歩み」 第 1 号 (昭和 55 年 8 月発行～)



CONTENTS

- ・平成 26 年第 3 回市議会臨時会 (主な議案の内容) … P. 2 議決結果一覧表 (各議員) … P. 3
- ・平成 26 年第 2 回市議会定例会 (主な議案の内容) … P. 4 議決結果一覧表 (各議員) … P. 6
- ・一般質問 (代表質問・個人質問) … P. 7～ ・意見書 … P.14～ ・議会日誌 … P.16

大月市議会第3回臨時会

こんな事が決まりました。

7月29日（1日間）

今臨時会の議案

市長提出案件

補正予算……………1件

その他……………2件

人 事……………1件

議会提出

選挙（補欠含む）……………3件

小泉二三雄議長の辞職願が提出され、後任に、小原文司議員が第56代議長に就任いたしました。



第56代議長 小原文司

議長就任挨拶

この度の市議会臨時会において、議員各位のご推挙をいただき第56代議長に就任をさせていただきました。

本当にありがとうございます。

さて、今年度は市制施行60年の節目の年であり、市民の皆様と様々な行事をとおして、一緒に60年を振り返り、その重みをしっかり噛みしめ、これから大月市がどうしたら良いのか、そういうことを皆でまた新たに考えていきたいと思ひます。

未来に希望を抱く、そのために様々な課題に真摯に取り組んでまいります。

議長として市民の目線で、市民のために、開かれた公平、公正かつ円滑な議会運営に努め、市民福祉の向上と市政発展のため、本当に頑張っていきたいと思います。

どうぞこれからも皆様のご指導とご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。簡単ではありますが、就任のあいさつと致します。

よろしくお願いいたします。

主な議案の内容

契約締結

大月東小学校校舎・体育館の建設工事の契約を結びました。（一般競争入札）

◎契約締結の件（大月市立大月東小学校校舎・体育館建設工事）

○契約金額……………1、278、288、000円

○工事概要

①校舎北棟・体育館増改築工事（3階建て 延べ床面積 3、124㎡）

②既存校舎南棟大規模改造工事（3階建て 延べ床面積 2、783㎡）

③既存体育館解体工事（平屋建て 延べ床面積 806㎡）

④その他工事等 駐車場整備工事、校庭整備工事

○契約の相手方：清水建設・川上建設大月市立大月東

小学校校舎・体育館建設工事共同企業体

動産購入

大月市消防本部の高規格救急自動車の老朽化に伴い入れ替えます。（一般競争入札）

◎動産購入の件（高規格救急自動車1台）

○購入予定価格……………18、360、000円

○購入相手方……………東八防災（株）

予算（補正）

◎平成26年度 大月市一般会計補正予算（第3号）

・猿橋地域活性化事業補助金（900万円）

・生活市道除雪のため地区が購入する除雪機に対する補助金（200万円）

人事

◎大月市監査委員の選任について同意を求める件

大月市監査委員 相馬保政氏は、平成26年7月29日をもって退職するので、その後任に 奥脇一夫氏を選任しようとするもの。
・大月市賑岡町ゆりヶ丘27番地8

奥脇 一夫
昭和23年10月16日生

選挙

◎大月都留広域事務組合議会議員補欠選挙

山田 善一

◎東部地域広域水道企業団議会議員補欠選挙

小泉 二三雄

その他

◎議員の派遣

平成26年度山梨県市議会議長会議員合同研修会（8月7日）に議員全員を派遣します。

○派遣の目的

研修「公共施設マネジメントなくして自治体経営は不可能について」

平成26年7月臨時会議決結果等一覧表

(賛成○ 反対● 退席一) ※小泉二三雄議長を除く

種別	議案番号	議 員 名 案 件 名	天野	大石	相馬	奥脇	後藤	古見	西室	小原	山田	卯月	山田	鈴木	小林	藤本	結 果
			祐治	源廣	保政	一夫	慶家	金弥	衛	丈司	善一	政人	政文	章司	信保	実	
補正予算	第50号	平成26年度 大月市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
その他	第51号	契約締結の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第52号	動産購入の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
人事	第53号	大月市監査委員の選任について同意を求める件	○	○	○	一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

小原丈司新議長 抱負を語る 「勉強会と住民との語り合いから！」

Q 大月市の最重要課題は。

A 大月市は今、国立社会保険人口問題研究所の推計以上に人口が減少している。その数は、年間500人以上にもものぼり2040年には13、000人にまで減少してしまうとの推計も出ており最重要課題であると考えている。

Q 人口減少問題に對した取り組みは。

A 私は、この問題に對し真摯に向き合い取り組む必要があると考え、まずは議会に勉強会を立ち上げたいと考えている。そして議論を重ね意見を集約し議会としての意見としていきたい。その意見や提言は決して当局に押し付けるのではなく、当局との意見交換を行う事や住民との語り合いも必要はないかと考えている。

Q 住民との語り合いの目的は。

A 議会報告会を開催すべきとの意見を良く耳にする。私は議会報告会という言葉は議員がプレイヤーで市民は観客というイメージを抱かせてしまい住民と議会の距離は近づいていかないと考えている。本当に必要な事は、船頭に全て任せるのではなく、設定した具体的なテーマについて議会と住民が共に語り合いを行い意見の一致をさ

せていく事ではないかと考えている。夢（意志・街）を共に作り出す事こそが、住民と議会の距離を更に近づけ、夢を形にしていくな道であり、真の議会改革に繋がると考えている。

Q 若者や女性の人口流出に對した取り組みは。

A 日本創生会議の「ストップ少子化・地方元気戦略」の提言の中でも若者や女性の活躍できる社会の必要性について述べている。確かにその通りであると思うが今の地方を若者や女性の活躍できる環境にしていく事は非常に険しい道だと感じている。「ストップ少子化・地方元気戦略」についても勉強していく事も含め大月市の人口減少問題に對し精一杯取り組んでいくが、地方自治体ができる事は限られておりという側面もある。国に對しても地方にしか分からない課題をしっかりと意見していく事も必要ではないかと考えている。

Q 意気込みを。

A 議会として継続し続ける事の重要性を考えながら「実行したい」ではなく「やらなくてはならない」という決意で頑張っていく所存であります。

大月市議会第2回定例会

こんな事が決まりました。

6月2日～6月19日(18日間)

今定例会の議案 (審査付託先)

市長提出案件

報告……………1件 (各常任委員会)

条例……………2件 (各常任委員会)

補正予算……………1件 (各常任委員会)

議会提出

意見書……………3件



報告

◆専決第2号

平成26年度 大月市一般会計補正予算(第1号)

2月の大雪による倒壊家屋等廃棄物処理経費の追加補正を行ったもの。

◎市の対応実績78件(保険適用外に限る)

○被災状況(件数)

・全壊42件・半壊12件

・一部24件

○処理内容(件数)

・撤去及び処分52件

・処分26件

○費用(万円)

・国、県409万円

・市420万円

◆専決第4号

大月市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

所得の少ない人の保険税を軽減する制度(注)を拡充するもの。一方、高額所

主な議案の内容

得者の保険税は引き上げる。

(注)現在、国制度で所得に応じ7割5割2割の保険税の軽減が図られている。対象が自動的に軽減される。

施行期日 平成26年4月1日

条例

◎大月市税条例中改正の件
法人税割の税率を引き下げる改正を行うもの。

施行期日 平成26年10月1日

○近隣市の状況(現在↓改正後)

・大月市 13・1%→10・5%

・都留市 13・1%→10・5%

・上野原市 13・2%→10・6%

・富士吉田市 14・7%→12・1%

補正(予算)

◎平成26年度 大月市一般会計補正予算(第2号)

応募したい団体が市と協議のうえ各種助成事業に応募申請するもの。年度ごと狭き門ではあるが、審査で採択が決まる。

助成金額

○コミュニティ助成事業
(一般財団法人自治総合センター)

・梁川町彦田地区 自主防災資機材整備事業(採択)50万円

・あわおどりグループ 太鼓等整備事業(採択)130万円

・大月商店街協同組合 ポイントカード導入事業(採択)1,000万円

○スポーツ振興くじ助成金事業(独立行政法人日本スポーツ振興センター)

・総合体育館 移動式バスケットゴール整備事業(採択)458万円

○過疎対策地域等自立活性化推進事業(総務省)

・笹子町政運営委員会 山村振興活性化事業(採択)800万円



請 願

◎特定秘密保護法撤廃を求める意見書の提出を求める請願

◎憲法解釈の変更による集団的自衛権行使容認に反対する意見書提出を求める請願
へいずれも、継続審査となりました。

◎30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書

◎「容器包装リサイクル法」を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書」の採択を求める請願書
へいずれも、採択となりました。意見書は14ページ・15ページをご覧ください。

委員会審査の様子

国民健康保険税の改正について



Q どのような収入の方々が課税限度額を上げられることになるか。
A 給与収入で860万円以上の方が限度額ということになります。

Q 課税限度額が77万円から81万円になるが、市内に限度額になるような該当者は何名位いるか。
A 年度によって差はあるが、20名前後の方が限度額となっている。

Q 保険料軽減判定所得の見直しになるが、どのような方にどのような優遇措置になるのか。
A ・2割軽減の拡大
基準額「33万円+35万円×被保険者数」から「33万円+45万円×被保

険者数」へ
・5割軽減の拡大
単身世帯も対象とする。
(旧制度は2人世帯以上)

Q 国保税自体の収入が少なくなるのか。
A 少なくなります。25年度ベースの負担割合で42.8万円、負担割合が大きくなります。

Q 保険財政の安定化を考えると、市負担が増えるが、軽減拡充に伴う公費の負担割合はどうなるのか。
A 県と市で負担をする。県が4分の3、市が4分の1です。

Q 法人税を引き下げると市の税収への影響はどうなるのか。
A 税率は13.1%から10.5%となり減収となる。昨年ベースで計算すると1,923万4,000円の減収となるが、地方交付税で県そ

して市の方に割増していたなどと聞いている。地方交付税の割合についてはまだはっきり決まっていない。

Mカードについて

Q Mカードの加入店舗数等を示せ。
A 組合加入店舗数は69件、Mカード加入店舗数は38件、Mカード機器台数は42台、カード発行数が27,000枚となっています。

Q 市内の他の商店や商店街でも発券し利用できるようになるのか。
A 大月商店街協同組合に委託しているが、基本的な方向性は、市内全域の商店に組合に加入して頂いて機器を設置して頂きたいと考えている。



表彰 おめでとう
ございます

全国市議会議長会・山梨県市議会議長会各会長より、議員勤続表彰を次の方々が受けられました。

◎議員勤続10年表彰



市議会議員 後藤 慶家氏



市議会議員 古見 金弥氏



市議会議員 小泉 二三雄氏



市議会議員 小原 丈司氏

平成26年6月定例会議決結果等一覧表

(賛成○ 反対● 棄権一) ※小泉二三雄議長を除く

[illegible]



市政を問う

6月定例会

一般質問

一般質問とは、市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただしたり、報告を求めたりするもので、各定例会で行われます。

今定例会では、6名の議員が質問を行いました。

● 代表質問

(1) 西室 衛議員 (清風会 & 公明) 8 ページ

- ①防災行政無線の改善と新たな防災情報の伝達方法は
- ②社会教育施設の環境整備計画と利用者からの要望への対応は

(2) 山田善一議員 (NEW・OTSUKI) 9 ページ

- ①中央病院の負債は基金だけで対処していくのか
- ②公立保育園は今後どのようにしていくのか

(2) 小原丈司議員 (山と川の街大月) 10 ページ

- ①人口減少への対応は
- ②中央病院の経営健全化への取り組みは

(4) 山田政文議員 (スマイル) 11 ページ

- ①大月駅北側地区の開発と道路整備等に関する市の方針は
- ②空き家・空き地の管理条例制定を提案するが市の考えは

(5) 藤本 実議員 (日本共産党) 12 ページ

- ①森林ボランティアから自伐林家を育成する考えは
- ②自然を活用するまちづくりビジョンは

● 個人質問

(6) 小林信保議員 (スマイル) 13 ページ

- ①前回の総合計画策定方法の検証はするのか
- ②公共施設等総合管理計画は策定するのか

本文は要旨の掲載であり、質問者自身が責任を持って作成したものです。詳しい内容については、会議録(8月下旬発行予定)を図書館及び市のホームページ(<http://www.city.otsuki.yamanashi.jp/>)で閲覧することができます。

代表質問

清風会 & 公明
西室 衛

Q 防災行政無線の改善と新たな防災情報の伝達方法は

A 聞き取りにくい世帯の解消に向けて電波調査等を実施している

問 現状、防災行政無線が聞き取りにくい世帯はどのくらいあるのか。

また、再ダイヤルシステム及び防災メールの利用状況並びに新たな伝達方法は検討されているのか。

答 市長

防災行政無線が聞き取りにくい世帯数は、昨年度2地区2世帯、今年度3地区5世帯の相談があります。現地調査等を行い、2地区2世帯は改善をいたし、3

地区5世帯については、解消に向けて電波調査等を実施している状況であります。

次に、再ダイヤルシステムの利用状況については、現在の機器では把握することとはできません。防災メールの利用状況は、現在646人の方が登録をされており、登録者からは、現状に合った有効な手段との評価をいただいています。

次に、新たな伝達方法については、本市でも過去において防災無線に対応したラジオ形式の受信機導入を検討し、市内の受信状況の調査を行っており、その結果、本市の山間部では受信できない地域が多く、導入に至らなかった経過があります。

今後は、防災無線のデジタル化に向けて、低廉な価格で実施できる方法を総務省及び実験実施業者と協議する中で検討してまいりたいと考えております。

Q 社会教育施設の環境整備計画と利用者からの要望への対応は

A 施設の機能を損なわない範囲での維持管理に努め、利用者にも不便を来さないようさらに徹底する

問 社会教育活動の活性化のための施設の環境整備計画を伺います。また、小中学校等のグラウンド使用にあたりトイレの設置等の要望があるが、現状と今後の計画について伺います。

また、小中学校等のグラウンド使用にあたりトイレの設置等の要望があるが、現状と今後の計画について伺います。

答 教育次長

環境整備は照明器具や給電設備、給排水設備等に不具合が生じた場合の補修など学校施設としての機能に損なわない範囲での維持管理に努めています。

次に、小中学校等のグラ

ウンド使用に当たり、トイレの設置等の要望があるが、現状と今後の計画については、グラウンドを開放している13施設のうち、3施設には屋外トイレが設置されておりません。グラウンド使用時には体育館等のトイレの使用も可能となっておりませんが、利用者にも不便を来さないようさらに徹底してまいります。

その他の質問

問 「地籍調査」について

